

第5回高大接続勉強会議事要旨  
—沖縄県北部地区内高等学校・名桜大学—

1. 目的

高大接続の実質化を実現するためには、大学入試改革に加えて、人材育成を目的とした高校教育と大学教育の相互理解に基づく一体的な教育改革が不可欠です。本会は、高等学校と大学の相互理解の場として、高校教育の現状や大学が目指す教育改革の方向性について意見交換を行い、高大接続の実質化に向けた具体的な方策を共に考えることを目的とします。

2. 日時・会場

日時：令和3年9月21日（火）13:30～15:15

場所：オンラインによる開催

3. 出席者

**沖縄県北部地区内高等学校（7校8名）**

島袋 修（名護高等学校 進路指導部主任）  
下地美香利（名護高等学校 進路指導部担当）  
新川 優（北山高等学校 進路指導部大学係）  
清野 篤子（宜野座高等学校 進路指導主任）  
澤 由香（辺土名高等学校 進路大学主任）  
田里菜穂子（北部農林高等学校 進路指導部）  
金城 哲生（本部高等学校 教諭） 途中参加  
金城 武史（名護商工高等学校 教諭）

**名桜大学（11名）**

林 優子（副学長）  
仲尾次洋子（国際学群長）  
奥本 正（人間健康学部長）  
小番 達（リベラルアーツ機構長）  
木村 堅一（教務部長、学長補佐）  
渡慶次正則（言語学習センター長）  
高安美智子（数理学習センター長、学長補佐）  
大峰 光博（ライティングセンター長）  
立津 慶幸（数理学習センター副センター長、IR室員）  
上江洲安幸（入試広報課長）  
神谷 順子（教務課学習支援係主査）

#### 4. プログラム及び勉強会要旨

13：30 開会 参加者一人一人自己紹介を行なった後、以下のとおり進行した。

13:30 開 会

13:30～13:35 開会あいさつ 林 優子 名桜大学副学長

13:35～13:40 出席者 自己紹介

13:40～14:10 「名桜大学 高大接続プログラム」の説明

- ① 名桜大学 高大接続プログラムの全体像  
木村堅一 名桜大学教務部長・学長補佐
- ② 初年次教育（教養演習、ライティング教育、英語教育 他）
- ③ 入学後のピアラーニング（※時間がなければ紙面報告）  
小番 達 名桜大学リベラルアーツ機構長

14:10～14:20 休 憩

14:20～15:15 意見交換

・「高等学校における中高接続の課題及び高大接続の課題」（各参加校）

名 護 高 校：中高連携は特に行っていない。学習的な事を除いて部活動での連携があると思う。

宜野座高校：宜野座村が中心となり、幼、小、中、高連携の学力向上の部会がある。中高連携については、例年、それぞれどのような取り組みをしているか情報交換を行なっている。村自体が主体的に学ぶ生徒を育てようという方向性は一致している。概論で終わり、核論までは進んでいない。課題として、宜野座村を中心の取り組みなので村外からの入学者に対して中学校と連携が取れない状況。

本 部 高 校：本部町内の中学校と中高連携を行っている。高校の教師が町内の中学校に週の数時間、授業に参加してTTで教えている。年に何回か中学校の教師と高校の教師と話し合を持っている。中学生と高校生と一緒に学ぶ機会を設ける等の話し合いを行っているが、中学校と高校との行事を取り組むことは難しい。中学校は高校入試に向けて計画的に行っている傾向が見受けられる。

辺士名高校：大宜味村として小中高連携は行っていない。中学校へ学校説明会、部活動の顧問が中学校へ訪問している。今後、大宜味村と連携して教育に繋げていけるよう話し合いを進めている。

北 山 高 校：本校で今帰仁中学校の生徒を対象にプレ入試を行っている。学力向上等について、年1回小中高の職員、小中高のPTAが集まりお互いの報告を行っている。

・ 情報提供

- ① 北部出身学生に対するアンケート調査結果報告（高安）

② 北部出身学生の入学後の成績ならびに学力調査結果の報告（立津）

③2021 年度入学予定者の入学前特別講座 ※時間がなければ紙面報告

・2022 年度入学予定者の入学前特別講座について

入学前特別講座Ⅰ（数学試験、交流会、体験学習）調整中

入学前特別講座Ⅱ（ライティング・英語・数学）調整中

講座参加者を北部7校の入学予定者のみに限定する方向で調整中

・名桜大学への要望等（※入学者選抜以外について）

特になし

・第6回高大接続勉強会の日程： 12月 日（ ） 時から

次回は来年1月2月の入学前講座実施について開催予定。

開催日についてアンケートに記入して頂き、調整後通知することが確認された。

・その他

木村先生：名桜大学への入学について、高校3年生での意識付けでは遅いので、出来れば1、2年生から意識付けとして名桜大学の教育目的・方法について集中的にアプローチした方が良いか高校現場の意見を伺いたい。昨年度は探究学習、総合的な問題解決型の学習が進んでいて、大学教育の方法等が活用できないか。

本部高校：1年生から大学に入学したいが何をするか分からないと相談があるので、本校としてはニーズとしてある。検討したい。

木村先生：北部の高校を対象に実験的な取り組みを進められるか大学内で検討したい。

・アンケート記入依頼

先生方へ後ほどメールで依頼することが確認された。

15:15 閉 会